3　前九年の役と安倍一族に関わる伝説

(1)　前九年の役の道案内をした和泉小太郎と、その弟田口左衛門九郎甚内の二人はその功により、現在の辞典にもない弓偏に前の刀と書く異体字の「弼」を貰った。この字の意味は弓を持つ八幡太郎義家の前の草を刀でなぎ払いながら進んで行った所から、この草「弼」の名字を貰ったとある。このほかに小太郎は田地百町歩、左衛門九郎甚内は六〇町歩を与えられたとされている。

(2)　田沢湖伝説の主辰子姫は安倍三之丞という安倍一族の娘と伝えられており、その屋敷跡と称するものが岡崎神成沢に残されている。

(3)　卒田、大荒田には前九年の役に源義家が帯陣した時の幕帳の槻の木や、駒繋ぎの栃の木（田沢湖町教育委員会の樹齢測定調査で、約九五〇年前からのものである事が確認されている）などがある。